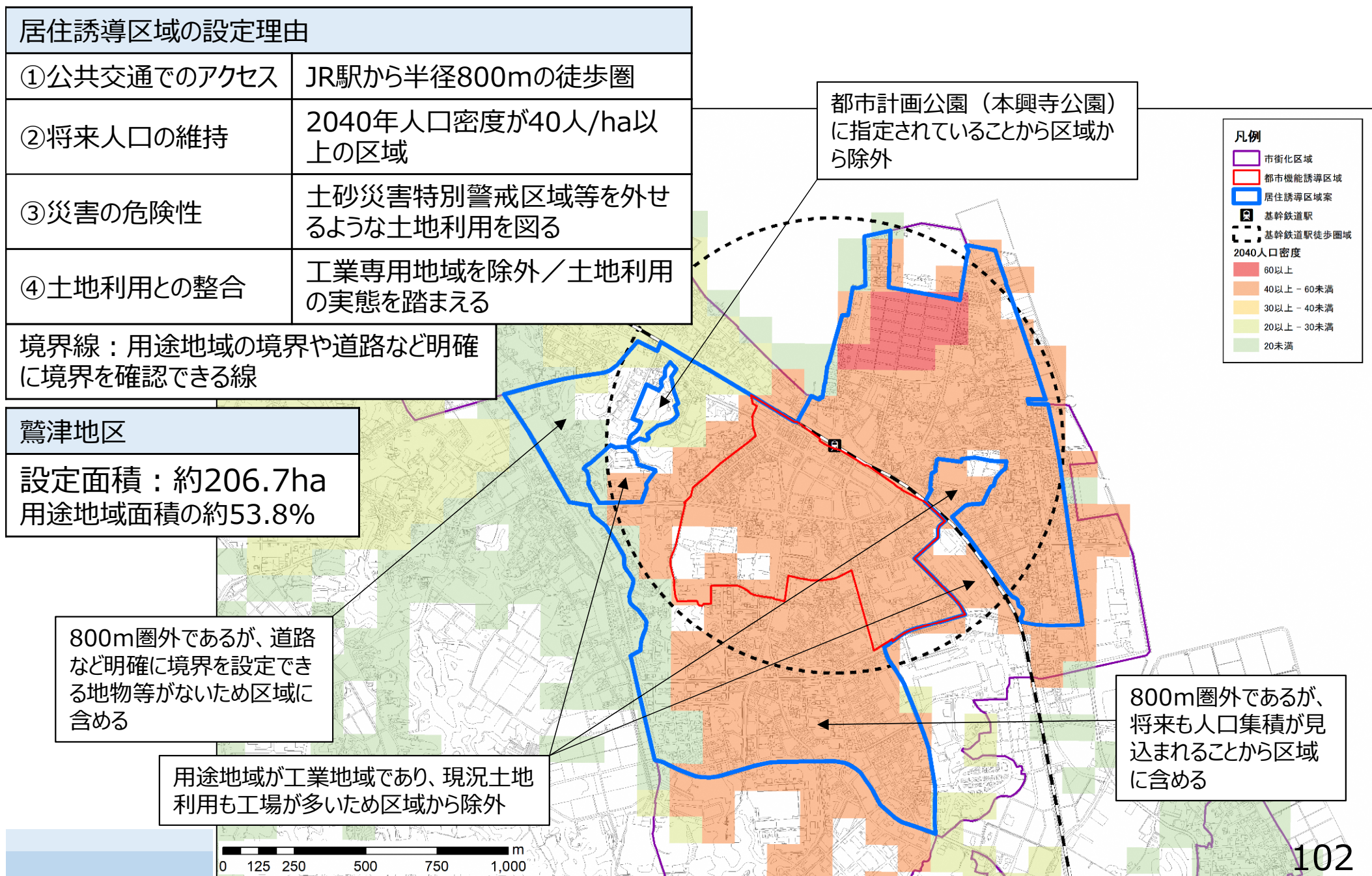


(2) 居住誘導区域の設定 (鷺津地区：都市拠点)



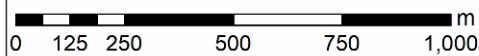
(2) 居住誘導区域の設定 (新所原地区：地域拠点)

居住誘導区域の設定理由	
①公共交通でのアクセス	JR駅から半径800mの徒歩圏
②将来人口の維持	2040年人口密度が40人/ha以上の区域
③災害の危険性	土砂災害特別警戒区域等を外せるような土地利用を図る
④土地利用との整合	工業専用地域を除外／土地利用の実態を踏まえる

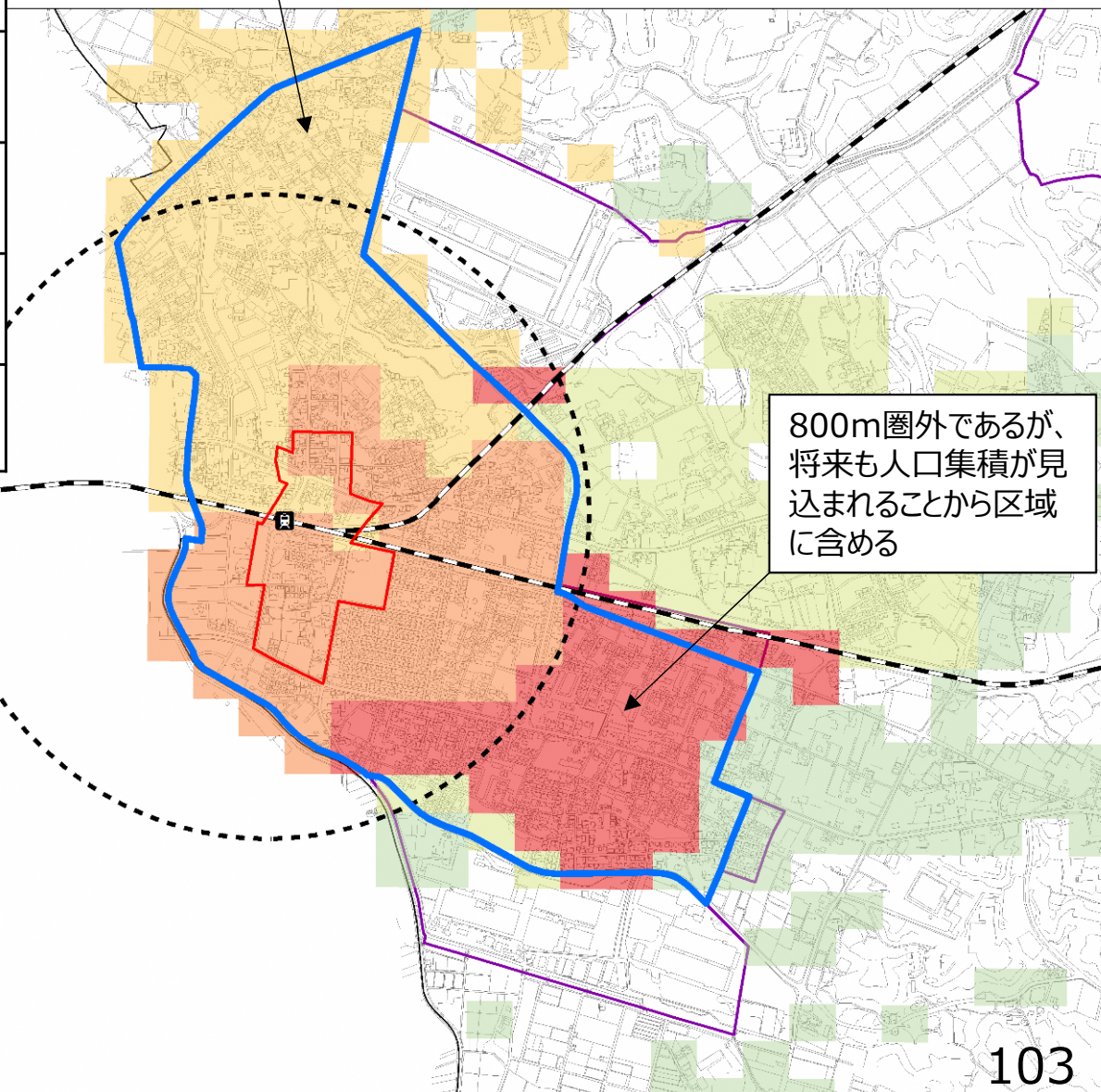
境界線：用途地域の境界や道路など明確に境界を確認できる線

新所原地区
設定面積：約162.2ha 用途地域面積の約72.3%

凡例	
	市街化区域
	都市機能誘導区域
	居住誘導区域案
	基幹鉄道駅
	基幹鉄道駅徒歩圏域
2040人口密度	
	60以上
	40以上 - 60未満
	30以上 - 40未満
	20以上 - 30未満
	20未満



800m圏外であるが、土地利用の連続性を踏まえ区域に含める



800m圏外であるが、将来も人口集積が見込まれることから区域に含める

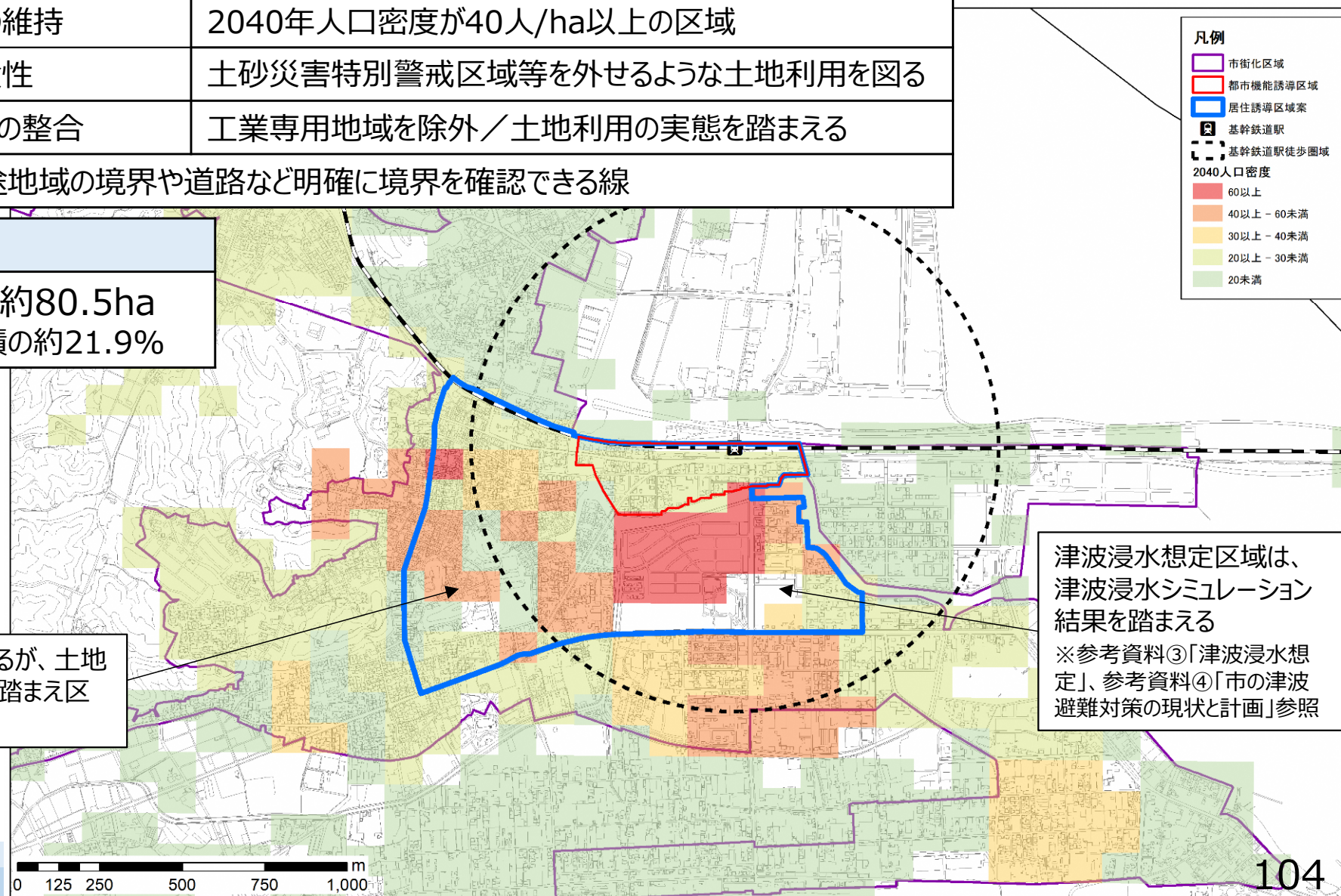
(2) 居住誘導区域の設定 (新居地区：地域拠点)

居住誘導区域の設定理由	
①公共交通でのアクセス	JR駅から半径800mの徒歩圏
②将来人口の維持	2040年人口密度が40人/ha以上の区域
③災害の危険性	土砂災害特別警戒区域等を外せるような土地利用を図る
④土地利用との整合	工業専用地域を除外／土地利用の実態を踏まえる

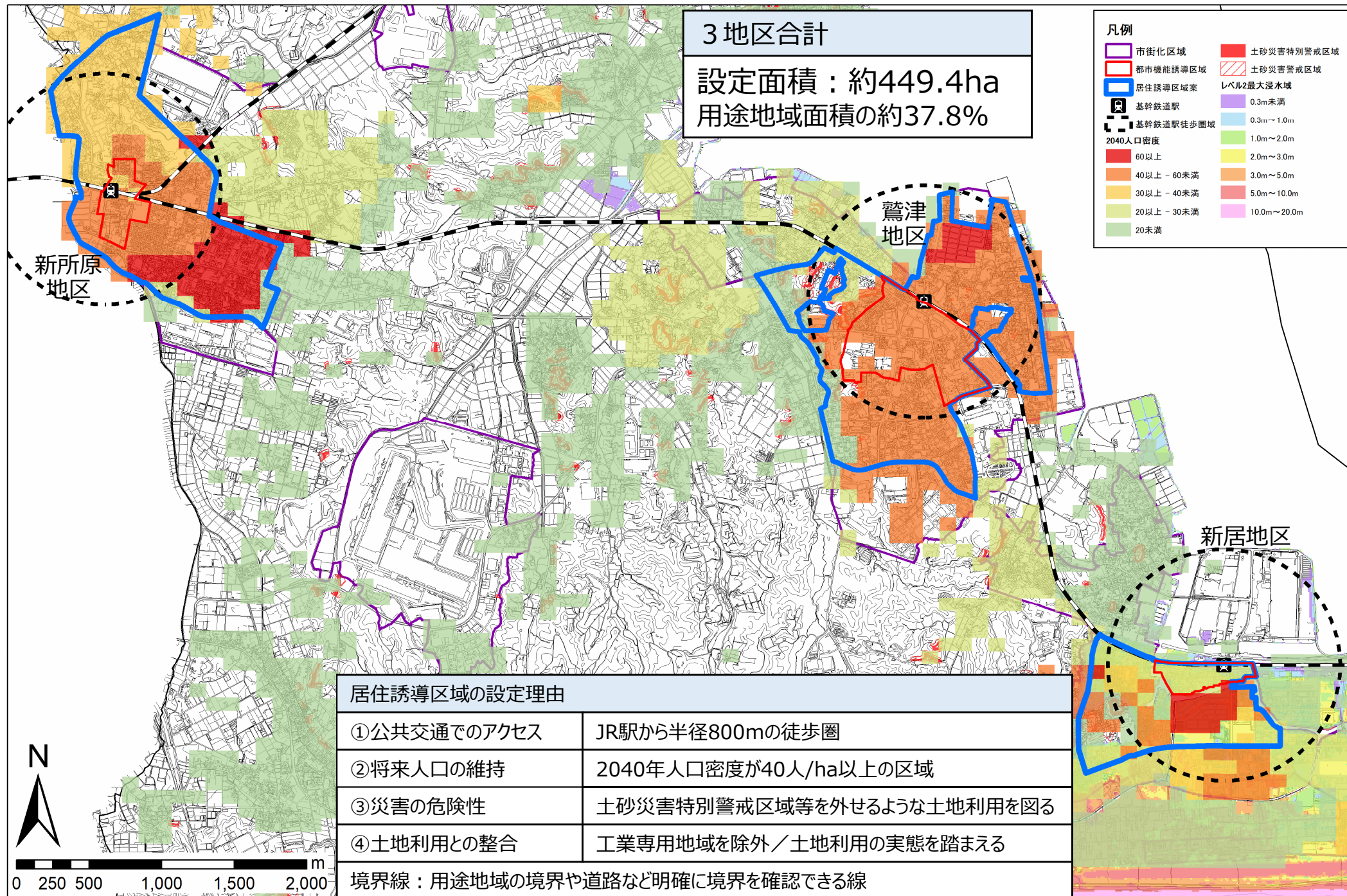
境界線：用途地域の境界や道路など明確に境界を確認できる線

新居地区
 設定面積：約80.5ha
 用途地域面積の約21.9%

800m圏外であるが、土地利用の連続性を踏まえ区域に含める

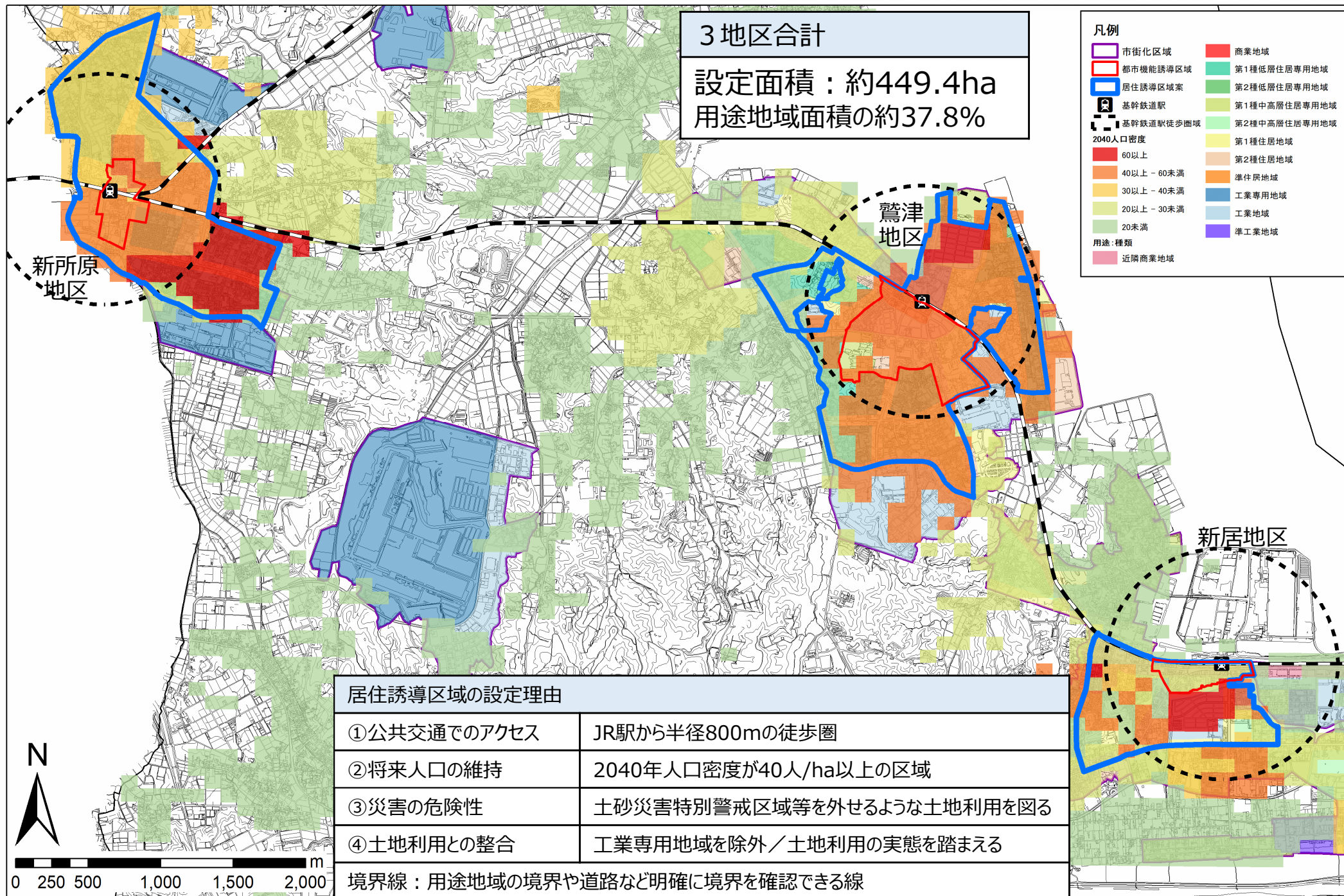


第8章 居住誘導区域



※本図は居住誘導区域に上記①②③に係る情報を重ねた

第8章 居住誘導区域



※本図は居住誘導区域に上記①②④に係る情報を重ねた